

平成 27 年第 6 回美唄市教育委員会会議録

1 と き 平成 27 年 4 月 16 日（火）

午後 4 時 00 分～午後 4 時 45 分（15 分休憩含む）

2 ところ 教育委員会室

3 出席委員

高橋委員長 森田委員 間島委員 齋藤委員 早瀬教育長

4 説明員

伊藤教育部長 阿部学務課長 西田学務課主幹 日下学校給食センター所長

畑島指導室長 高田生涯学習課長 佐藤生涯学習課主幹 谷村サテライト・キ
ャンパス推進室長 飯野図書館長 林郷図書館主幹 高橋学務課主査

5 開会

齋藤委員を署名委員に指名

会期を 1 日と決定

6 議件名

議案第 16 号	美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育 長に委任する規則及び美唄市教育委員会事務局組織に関 する規則の一部改正の件
議案第 17 号	社会教育委員委嘱の件
議案第 18 号	公民館運営審議会委員委嘱の件
その他 1	美唄市教育委員会事務局処務規程及び美唄市教育委員会 財務規程の一部を改正する規程について
その他 2	美唄市民会館運営審議会委員の委嘱について
その他 3	学校の適正配置について

概要記録

16:00

●高橋委員長 ただいまから、平成27年第6回美唄市教育委員会議を開会します。

順序第1 会議録署名委員に、齋藤委員を指名いたします。次に、順序第2 会期の決定につきましては、本日1日とします。次に、順序第3 教育長報告並びに行事報告・行事予定について事務局から説明をお願いします。

●伊藤部長 ※教育長報告（添付資料 別紙1）

※行事報告、行事予定説明（添付資料 別紙2）

●高橋委員長 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明がありました。何か質問がありますか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 次に、議案第16号 美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則及び美唄市教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正の件を議題といたします。説明をお願いします。

●高田課長 議案第16号 美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則及び美唄市教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正の件をご説明申し上げます。本件につきましては、本年4月1日から美唄サテライト・キャンパスに関する事務が企画課から生涯学習課に移され、サテライト・キャンパス推進室が設けられたことによりまして、必要な改正を行うものとするものでございます。議案第16号参考資料（1）の新旧対照表をご覧ください。美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則では、第1条の教育委員会の権限に属する教育事務のうち、教育長に委任する以外の事務といたしまして、第7号の職員の任命に係る規定に、サテライト・キャンパス推進室長を加えようとするものでございます。次に、参考資料（2）の新旧対照表をご覧ください。美唄市教育委員会事務局組織に関する規則では、第3条の事務局に（配置する職員）といたしまして、第1号に「室長」及び「室次長」を加えまして、第4条の（職員の職務）には、第3項の「主幹」の職務を「主幹及び室長」の職務とし、第4項の「主査」の職務を「主査及び室次長」の職務に改め、第5条の所掌事務には、第4項の生涯学習課に第15号といたしまして、「美唄サテライト・キャンパスに関すること。」を加えて、以下の号数を調整いたしました。附則では施行期日を平成27年4月1日と定めております。どうぞ審議の方をよろしくお願いします。

●高橋委員長 ただいまの件に関しまして、委員さんの方から何かご質問はありますか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、議案第１６号 美唄市教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則及び美唄市教育委員会事務局組織に関する規則の一部改正の件は原案のとおり可決してよろしいですか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案のとおり可決いたします。

次に、議案第１７号 社会教育委員会委嘱の件及び議案第１８号 公民館運営審議会委員委嘱の件の以上２件を一括議題といたします。

●高田課長 議案第１７号 社会教育委員委嘱の件及び議案第１８号 公民館運営審議会委員委嘱の件の２件について、一括ご説明を申し上げます。

本件は、３月３１日付をもちまして、転勤のため市外へ転出された社会教育委員、並びに公民館運営審議会委員を退任されました佐藤社会教育委員の後任の委員につきまして、社会教育法第１５条第２項及び第３０条第１項並びに美唄市公民館条例第２０条第１項の規定により、委嘱しようとするものでございますが、佐藤委員が学校関係からの選出でありましたので、美唄市教頭会から推薦をいただき、こちらにお示しのとおり、「加藤康德氏」を社会教育委員並びに公民館運営審議会委員に委嘱いたしたく、委員会の承認を求めるものでございます。なお、任期は美唄市社会教育委員条例第４条並びに美唄市公民館条例第２０条第２項の規定におきまして、前任者の残任期間であります平成２７年１０月３１日までとなります。以上よろしくお願いいたします。

●高橋委員長 ただいまの件に関しまして、委員さんの方から何かご質問はありますか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、議案第１７号 社会教育委員会委嘱の件及び、議案第１８号 公民館運営審議会委員委嘱の件の以上２件につきまして、原案のとおり可決してよろしいですか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 それでは、原案のとおり可決いたします。

次に、その他１ 美唄市教育委員会事務局処務規程及び美唄市教育委員会財務規程の一部を改正する規程についての報告を求めます。

●高田課長 その他１ 美唄市教育委員会事務局処務規程及び美唄市教育委員会財務規程の一部を改正する規程について、ご説明を申し上げます。本件につきましては、議案第１６号と同様に、本年４月１日から美唄サテライト・キャンパスに関する

る事務が企画課から生涯学習課に移され、サテライト・キャンパス推進室が設けられたことにより、必要な改正を行うものでございます。その他１の参考資料（１）をご覧くださいと思います。美唄市教育委員会事務局処務規程は、第１条の専決することができる事務について、生涯学習課長の第１３号として「美唄サテライト・キャンパスの運営に関すること。」を加え、それ以下の号数を調整しました。また、別表の１ 教育部長専決事項で生涯学習課の代決することができる者の第２及び、生涯学習課長の専決事項の代決することができる者の第１に、それぞれ、「サテライト・キャンパス推進室長」を加えようとするものです。次に、その他１の参考資料（２）の新旧対照表をご覧くださいと思います。美唄市教育委員会財務規程では、第５条の事務の代決について、先ほどと同様に、教育部長の専決事項で、生涯学習課長の代決することができる者の第２及び、生涯学習課長の専決事項の、代決することができる者の第１に、それぞれ、「サテライト・キャンパス推進室長」を加えようとするものでございます。附則では、平成２７年４月１日施行と定めていますので、よろしくお願いいたします。

●高橋委員長 ただいまの報告につきまして、何か教育委員さんの方から質問はございますか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他１ 美唄市教委員会事務局処務規程及び美唄市教育委員会財務規程の一部を改正する規程についての報告を終わります。次に移ります。その他２ 美唄市民会館運営審議会委員の委嘱について説明を求めます。

●高田課長 その他２ 美唄市民会館運営審議会委員の委嘱についてご報告を申し上げます。本件は、先ほど、議案第１７号及び１８号のところでご審議をいただきました、社会教育委員並びに公民館運営審議委員の委嘱の件を兼ねて、「加藤康徳氏」を委員に委嘱しようとするものでございますが、この委員につきましては、市長の諮問機関として美唄市民会館設置条例及び同条例施行規則に基づき、委嘱するものでございまして、市民会館を所轄する教育委員会にご承知いただくために、ご報告させていただきます。任期は、先ほど同様、美唄市民会館設置条例施行規則第６条、第２項の規定によりまして、前任者の残任期間であります平成２７年１０月３１日までとなります。以上よろしくお願いいたします。

●高橋委員長 ただいまの件に関しまして、何かご質問等ありますか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、その他２ 美唄市民会館運営審議会委員の委嘱については、これで終わります。次に、その他３ 学校の適正配置について議題といたしま

す。それでは説明の方をお願いします。

●伊藤部長 学校適正配置に関する考え方（たたき台）の資料について、ご説明させていただきます。これまで、学校適正配置につきましては、この会議におきまして協議をいただいていたところではありますが、前回の協議内容を踏まえまして、（たたき台）として整理した内容が、この資料となっております。まず、内容につきましてご説明させていただきます。1の児童生徒数の推計につきましては、平成27年度から31年度までにつきましては、住民基本台帳を基本として整理した児童生徒数の推計であります。また、更に右側に、平成37年度、平成47年度の児童生徒数の推計値が載っておりますけれども、こちらについては、新たに加えた部分でございまして、国立社会保障・人口問題研究所におきます、地域別の人口推計に基づいたものから推計をしていたものであります。正式な統計学的な処理に基づいた推計とはなっておりませんけれども、参考として掲載させていただいております。この段階におきまして、平成31年度のところに注目して見ていただきますと、児童数については735人、生徒数は405人となります。これを考えますと、市内小・中学校は各一校でも、それほど大きな規模の学校ではないのかなということになります。小学校一校につきますと、一学年3学級から4学級、中学校については、一学年、4から5学級の学校ができるということになります。2の目指すべき児童生徒像ということになります。何ができる子どもを育てていくかというイメージでありますけれども、ここでは、仮に「人間性豊かで意欲ある子ども」というような、児童生徒像を掲げさせていただいておりますが、説明といたしまして、「発達段階に応じて、次の力や意欲が育っている」という、子どもを育てるというイメージになりまして、4点あります。一点目は、「やさしさと思いやりの心を基調としたコミュニケーション能力が育っている。」子供に育てたいという事。二点目は、「コミュニケーション能力に基づく問題解決に対する意欲が育っている。」子供に育てたいという事。三点目は、「論理的思考力が育っている。」子供に育てたいという事。最後に、「創造的活動への意欲が育っている。」子供に育てたいというようなイメージですね。目指すべき児童生徒像というのをまとめてみました。三点目、「学校適正規模に対する考え方のポイント」という事でありますが、協議していただいた視点から、「子どもたちに良好な教育を保障する。」という視点がありましたけれども、さらに具体的なポイントで、4つほど整理いたしました。一点目はアクティブ・ラーニング、国がこれから進めていくと言われております、協働型・双方向型授業ができる程度の学級規模が必要ではないかということになります。これについては、上のローマ数字のⅡの①から③までが関わってくるのかなということです。ポイントの2、社会

性やコミュニケーション能力が育つ学級規模、すなわち、1学級30人程度が必要ではないかというポイントであります。これについては、上のローマ数字のⅡの①②が関連してくるかと思えます。それからポイントの3ですけれども、クラス替えができる学校規模が必要という事でありまして、多様な人間関係に接して、学級同士が切磋琢磨できる環境であります。これについては、上のローマ数字Ⅱの①②が関係してきてるのではないかと思います。また、ポイントの4としては、クラブ活動や部活動等の選択肢を広く設定できる学校規模が必要、という考え方でありまして、これについては上のⅡの②④が関係してくるかと思えます。次に、Ⅳの学校の適正規模でありますけれども、二つの考え方を整理してありますが、まず、考え方1につきましては、上のⅠからⅢまでの整理を踏まえて、考え方を整理すると、考え方1の方になるのではないかと思います。すなわち、小規模校（複式学級）を解消していくという考え方で、適正規模の考え方として小学校については12学級以上。中学校については6学級以上という考え方です。それから、二つ目の、考え方2の方でありますけれども、こちらは小規模校のメリットを最大限に生かす。つまり、これからの人口減少社会にあっては、児童生徒数がどんどん減っていくことは想定されますので、小規模校のいいところを最大限に生かしていく、教育を進めるんだという考え方が成り立つのではないかと考えております。適正規模としては、小学校3学級以上、中学校3学級以上という事で、考えられるのではないかと考えております。それから、5点目の地域事情への配慮につきましては、上記Ⅳの適正規模を選択するか否か、つまり、1の考え方に達するか、2の考え方に達するかということに関しては、地域の皆さんの意向を最優先するという考え方ではどうかという事であります。これについては、地域との意見交換が必要となっておりまして、検討の方向について、これから考えていく必要があるかなと考えております。また、地域事情への配慮の中で、配慮すべき事項としては、地域性の違い、地域との関係、特に保育所との関係ですね。それから、地理的条件や中学校との連携の状況などを配慮していく必要はあるのではないかとこの事でありまして、最後に、枠囲みをしている部分につきましては、小規模校として残す場合の小規模校の課題を克服していかなければなりませんので、その克服例として挙げております。具体的にはそれぞれの学校の状況に応じて設定していくこととなりますが、まず、例の一つとしては、学校間の交流活動の充実により、小規模校のデメリットを最小化するという事になりまして、その課題としては、学級同士の切磋琢磨ができないですとか、社会性が育たない等の課題を克服していくことが想定されますが、学校行事での学校同士の交流、あるいは、ICTを活用した学校同士の交流などが考えられるか

なと思っています。二点目としましては、複式学級がある学校につきましては、学習支援員を配置するという事でありますけれども、今も、既に配置はしておりますが、より充実していく方向で、考えていく必要があるかなという事であります。三点目は小中連携教育を深めるという事で、コーディネーターがつなぐ英語、算数・数学、理科を中心とした連携という例をあげさせていただいておりますけれども、小中連携を進めていく上では、やはりそのどういうやり方をするのかという、コーディネーター役の方が必要になってくるかと思います。全国的な例で言いますと、学校の先生が、コーディネーターをやっていることが多いようですけれども、そういう想定のもとで具体的な、小学校と中学校、どういう繋ぎ方をするか、そういうことを考えていかなければならないかなと思っています。その理由としては、カリキュラム・教職員交流の充実による中1ギャップの克服。そういうものが、課題であると思っています。さらに、※の所ですけれども小中一貫学校、国から示されたところですが、この設置につきましては小中連携教育への進展の状況によって、必要か必要でないかの検討は、次の段階にて出てくるのではないかと考えております。最後に、教職員間の情報交換ですとか、研究活動の活性化により、技術や資質の研鑽の場の充実を図っていく必要があるのではないかと考えています。小さい学校ですと、先生の数が少ないですので、そういう研鑽の場が不足するという事に対応して、そうでないやり方で、技術や資質を磨いていくやり方を考えていく必要があるのではないかと考えております。以上が、資料の内容となっています。これを、今後たたき台として、必要なものはさらに加え、必要ないものは削り、修正すべき点は修正していただきながら考え方を整理していただければと思っています。先ほど協議会でお配りさせていただきました、齋藤委員から提供がございました、資料について、先ほど見ていただいておりますけれども、全部に目を通されていないと思いますので、ここで、若干、休憩を取っていただいて、資料の熟読などをしていただければと、よろしくお願いします。

●高橋委員長 ただいま、伊藤部長の方から説明がありました。また、齋藤委員からの情報提供の資料の配布があり、まだ内容の熟読されていないという事で、休憩をはさみまして、齋藤委員からの情報提供を皆さんで改めて見ていただきまして、会議の方を再開させていただきますので、よろしくお願いします。

※（15 分間休憩）

●高橋委員長 それでは、会議を再開いたします。学校の適正配置について、今回、どのようにまとめていくか意見を言っていたきたいと思います。

●伊藤部長 先ほど、休憩中にいろいろな意見が出まして、まず、アンケート調査を行ってはどうかという事と、今後、来月の総合教育会議の中で市長の意向も聞きながら、地域でどのような方向の意見を持っておられるのかを聞いて、その意向を含めて、進めていくということによろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 では、学校の適正配置については、アンケートをどのようにしたらいいか、時期、今後の課題を考えていく中で、どう進めていくか継続して審議していくという事でよろしいでしょうか。

●各委員 はい。

●高橋委員長 あと何か、質問等ありませんか。

●高橋委員長 本日の議案については、これですべて終了いたしました。他に何か事務局の方からありますか。

●伊藤部長 事務局からはありません。

●高橋委員長 あと、委員さんの方から何かありますか。

●各委員 ありません。

●高橋委員長 なければ、これをもちまして、平成27年度第6回美唄市教育委員会会議を閉会いたします。ご苦労様でした。

16:45 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 齋藤 実

【別紙 1】

教 育 長 報 告

自 平成 27 年 3 月 23 日

至 平成 27 年 4 月 15 日

区 分	会 議 等
3月23日	第 4 回教育委員会議 教育委員室
25日	第 5 回教育委員会議（臨時）
26日	第 6 回空知管内市町教育委員会教育長会議 空知合同庁舎（岩見沢市）
30日	「新 1 年生トートバック」寄贈（JA びばい） 教育長室
30日	「5 年生用食育教科書」寄贈（JA びばい・JA みねのぶ） 教育長室
31日	退職者辞令交付式（市職員/学校職員） 市長室ほか
4月1日	異動辞令交付式 教育長室ほか
2日	平成 27 年度学校職員辞令伝達式 市民会館
3日	美唄サテライト・キャンパス運営協議会総会 大会議室
10日	管内市町教育委員会連絡協議会総会 ホテルサンプラザ（岩見沢市）
10日	管内市町教育委員会教育長会議 ホテルサンプラザ（岩見沢市）
10日	平成 27 年度第 1 回教科書採択協議会 ホテルサンプラザ（岩見沢市）
13日	美唄市スポーツ推進委員定例会 市内
15日	平成 27 年度第 1 回公立高等学校配置計画
	地域別検討協議会 空知合同庁舎（岩見沢市）
15日	美唄市特別支援学級設置校連絡協議会総会 大会議室

上記のとおり報告する。

平成 27 年 4 月 16 日

美唄市教育委員会

教育長 早 瀬 公 平

【別紙2】

3 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
23	月				
24	火				
25	水				
26	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	市民
27	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
28	土				
29	日				
30	月				
31	火				

4 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	対 象
1	水				
2	木	第1回臨時校長会議	9:00	市民会館	関係者
		転入教職員辞令交付式	10:00	市民会館	関係者
3	金	美唄サテライト・キャンパス運営協議会総会	15:30	大会議室	関係者
4	土				
5	日				
6	月	小・中学校入学式、始業式			
7	火				
8	水				
9	木				
10	金	栄幼稚園入園式			
11	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	市民
12	日				
13	月	美唄市スポーツ推進委員会定例会	18:00	市内	関係者
14	火				
15	水				

5 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	金	こどもの読書週間特別展（～15日）	10:00	図書館ロビー	図書館
		自主事業こども絵画展（～31日）	9:00	郷土史料館	生涯学習課
2	土				
3	日				
4	月				
5	火				
6	水				
7	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
8	金				
9	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
10	日				
11	月				
12	火				
13	水				
14	木				
15	金				
16	土	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
17	日	なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
18	月				
19	火	第2回定例校長会議	9:30	第4会議室	指導室
20	水	キッズ・アスリートスクール①開講式	17:00	総合体育館	生涯学習課
21	木	3歳児ブックスタート	13:00	保健センター	図書館
		なつかしの映画上映会	12:00	郷土史料館	生涯学習課
22	金	おはなしの会3歳児ブックスタート	10:30	図書館児童室	図書館
23	土				
24	日	全空知小中学生卓球大会	8:00	総合体育館	生涯学習課
25	月				
26	火	第2回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	指導室
27	水	チャレンジデー2015	6:30	市内	生涯学習課
		キッズ・アスリートスクール②	17:00	総合体育館	生涯学習課
28	木	ブックスタート（7か月児）	13:00	保健センター	図書館
29	金	体育大会（美中・南中）			
30	土				
31	日				

【生涯学習課】

街頭指導 7日(木)、14日(木)、22日(金)、28日(木)

列車添乗 20日(水)

生徒指導交流会 19日(火)

【生涯学習課サテライト・キャンパス推進室】

・講座～産業系人材養成講座1講座2回

まちづくりを担う人材養成講座1講座2回

市民教養講座2講座7回

・協働事業～札幌国際大学卓球部によるレッスン・交流試合

(5月24日全空知小中学生卓球大会と同時開催)